

広報

おたる

2007

7

今月の焦点 初議会が開かれました 市議会第1回臨時会  
遊んで学ぼう！総合博物館  
市長への手紙 皆さんの声をお聴かせください



見つけた！小樽！



### 人魚のレリーフ

砂留トンネルの稲穂側入り口に人魚の立体レリーフがあります。これは、平成元(1989)年にトンネルが完成した際、道路を利用する皆さんの目を楽しませようと施されたもの。海洋都市小樽をイメージし平和の象徴としてデザインされました。

ハープを奏でながら優しい笑みを浮かべるその姿は、ここを行き交う車と人々の安全無事を願っているようです。

OTARU CITY NEWSLETTER

広報 **おたる**

平成19年7月1日  
No.707

発行／小樽市  
編集／小樽市総務部広報広聴課  
〒047-8660 小樽市花園2丁目12番1号  
☎0134②4111内線223・224・394  
FAX0134⑦4331  
E-mail: koho@city.otaru.hokkaido.jp

※防災関係の連絡先  
小樽市消防本部☎②9137、小樽警察署☎②0110、北海道電力㈱小樽支店☎②1111、北海道ガス㈱小樽支店☎②1511、小樽市水道局☎②4111

住民基本台帳人口/13万9890人(男6万3799人・女7万6091人) 世帯数/6万7876世帯 外国人登録人口/451人(平成19年5月31日現在)

★市役所の執務時間は午前9時～午後5時20分です

#### ●広報番組

テレビ おたるフラッシュニュース  
STV 毎週土曜日 午前9時25分～9時30分  
ラジオ 小樽市民ニュース  
FMおたる(76.3MHz)  
毎週月～金曜日 午前9時45分～9時50分

#### ●ホームページ

<http://www.city.otaru.hokkaido.jp>

#### ●携帯電話サイト「ノスタルジック小樽」

iモード、Yahoo!ケータイ、EZweb  
「メニューリスト」  
↓  
「北海道メニュー(エリア)」  
↓  
「行政」



(携帯電話用コード)

# 初議会が開かれました

## 市議会第1回臨時会

### 今月の焦点

4月22日の市議会議員選挙で選ばれた議員による初めての議会が、5月24日・25日の2日間、開かれました。この第1回臨時会では、議長・副議長と各委員会の委員などが選ばれ、副市長・監査委員の選任が同意・可決されました。そこで今回は、これらの内容について皆さんにお知らせします。

### これからの議会構成

市議会は、市民の代表として選ばれた28人の議員で構成されるもので、市民生活のさまざまな課題を話し合い、市政の重要な事柄を決定する大切な機関です。  
改選後の初議会となった第1回臨時会は、議会構成などを決めるもので、議長に見楚谷登志氏、副議長に佐野治男氏が選ばれました。また、総務・経済・厚生・建設の各常任委員会、学校適正配置等調査・市立病院調査の両特別委員会と議会運営委員会のそれぞれの委員長・副委員長・委員も決まりました（詳しくは下の一覧をご覧ください）。

### 議長・副議長を選出



見楚谷登志議長



佐野治男副議長

### 可決・承認された議案等

今回の臨時会では、次の議案等が可決または承認されています。

〔可決された議案〕

- ▼平成19年度一般会計補正予算
- ▼平成19年度国民健康保険事業特別会計補正予算
- ▼平成19年度老人保健事業特別会計補正予算
- ▼市議会委員会条例の一部を改正する条例案（議会運営委員会委員定数の変更）
- 〔承認された専決処分報告〕
- ▼一般会計補正予算・経営支

援特別資金損失補償費  
▼病院事業会計補正予算・損害賠償請求事件にかかる賠償金  
▼特別職に属する職員の給与条例等の一部を改正する条例  
▼市長の退職手当の特例に関する条例  
▼控訴の提起

### 副市長・監査委員の選任

このほか、副市長と監査委員の選任についても同意されています。副市長には、前総務部長の山田厚氏が就任しました。監査委員には、市議会議員の久末恵子氏と税理士の木野下智哉氏が再任されました。

## 各委員会の役割と委員

▶委員の氏名は敬称を略しています。  
▶会派名は(自)が自民党、(公)が公明党、(共)が共産党、(民・市)が民主党・市民連合、(平)が平成会、(無)が無所属の略です。  
▶各議員は、いずれかの常任委員会に必ず所属します。

### 総務常任委員会

総務部・財政部・消防本部・教育委員会などの仕事を担当します。

委員長  
前田清貴(自)



副委員長 高橋克幸(公)  
委員  
鈴木喜明(無) 菊地葉子(共)  
佐藤禎洋(自) 佐々木勝利(民・市)  
横田久俊(自)

### 経済常任委員会

経済部・港湾部・農業委員会などの仕事を担当します。

委員長  
大橋一弘(平)



副委員長 新谷とし(共)  
委員  
佐野治男(公) 濱本進(自)  
林下孤芳(民・市) 大竹秀文(自)  
見楚谷登志(自)

### 厚生常任委員会

市民部・福祉部・保健所・環境部・病院の仕事を担当します。

委員長  
北野義紀(共)



副委員長 吹田友三郎(平)  
委員  
千葉美幸(公) 中島麗子(共)  
井川浩子(自) 斎藤博行(民・市)  
成田晃司(自)

### 建設常任委員会

建設部・水道局の仕事を担当します。

委員長  
斎藤陽一良(公)



副委員長 山田雅敏(自)  
委員  
秋元智恵(公) 成田祐樹(平)  
山口保(民・市) 古沢勝則(共)  
久末恵子(自)

### 学校適正配置等調査特別委員会

市内の小・中学校の適正配置などに関する調査をします。

委員長  
佐々木勝利(民・市)



副委員長 井川浩子(自)  
委員  
千葉美幸(公) 成田祐樹(平)  
菊地葉子(共) 斎藤陽一良(公)  
佐藤禎洋(自) 山口保(民・市)  
北野義紀(共)

### 市立病院調査特別委員会

市立病院に関する調査をします。

委員長  
成田晃司(自)



副委員長 斎藤博行(民・市)  
委員  
秋元智恵(公) 大橋一弘(平)  
中島麗子(共) 高橋克幸(公)  
山田雅敏(自) 濱本進(自)  
古沢勝則(共)

### 議会運営委員会

会期や日程など、議会運営について協議します。

委員長  
横田久俊(自)



副委員長 成田晃司(自)  
委員  
吹田友三郎(平) 高橋克幸(公)  
斎藤陽一良(公) 山田雅敏(自)  
斎藤博行(民・市) 新谷とし(共)  
古沢勝則(共)



### 副市長・監査委員の選任が同意されました



山田厚副市長 久末恵子監査委員 木野下智哉監査委員

## 市議会とは…

### 市議会

市議会議員によって構成され、予算や条例などをはじめとした市民生活のさまざまな課題について審議し、どのように処理するかを決めます。市長の執行機関に対し、議会は議決機関と呼ばれています。

### 市議会議員

4年ごとに市民の皆さんによる選挙で選ばれます。議員の定数は、法律により人口に応じて条例で定めることになっています。小樽市では現在、条例で28人と定めています。

### 定例会と臨時会

市議会には年4回の定例会（2月・6月・9月・12月）と、必要に応じて開かれる臨時会があり、いずれも市長が招集します。また、議長が議会運営委員会の議決を経た場合、または、議員定数の4分の1以上の議員から請求があった場合、市長は臨時会を招集することになっています。

### 本会議と委員会

本会議は、議員全員で構成される議会の最終的な意思を決定する場です。委員会は、行政の多様化に対応し、本会議で議決する前に少人数の議員で議案などを効率的・専門的に審議する場です。

### おたる市議会だより

議会での主な質問や議決結果を、市民の皆さんにお知らせするため、議会広報誌「おたる市議会だより」を年4回発行しています。

◆お問い合わせは、議会事務局 ☎@2847、  
✉@2315へどうぞ。

◎そのほかの情報◎

展示・催しと直近の行事予定

- 夏季は、蒸気機関車「アイアンホース号」を無料で運行します。ぜひご利用ください。
- 企画展示室では、10月21日まで「博物館名品展」を開催します。

※現在予定している主な行事

- 8月9日…科学の祭典（小樽大会）
- 10月6日…秋の自然とキノコ展
- 10月27日～28日…科学の祭典（北海道大会）

年間パスポートの先行予約を10日(火)まで受け付け

年間パスポートを7月10日(火)までに予約すると、限定デザインのパスポート（右の写真）と、ドームシアターの特別番組「銀河鉄道の夜」の鑑賞券を1枚差し上げます。申し込みは、新博物館開設準備室（総合博物館）か博物館（7月14日から運河館となります）へ。ファクスと電子メールで申し込む方は、氏名・年齢・電話番号を書いて、☎0134-2678、✉hakubutukan-pass@city.otaruhokkaido.jpへ。



【入館料】	年間パスポート	普通入館料		共通入館料	
		本館	運河館	本館	運河館
中学生以下		無料			
一般	1000円	400円	300円	300円	500円
高校生と市内在住の70歳以上の方	500円	200円	150円	150円	250円

※夏季は4月29日～11月3日、冬季は11月4日～4月28日です。ただし、祝日などで日付が変わる場合があります。※身体障害者手帳などをお持ちの方とその介護者は無料。※団体利用（20人以上）の場合は2割引。

◎レポートを終えて◎



※石川深冬ちゃん（8歳）

やっぱり、しづか号が一番好き！レファレンスルームのはく製にはびっくりしたよ。次来たときは、アイアンホース号に乗りたいな。



※棧敷圭愨くん（9歳）

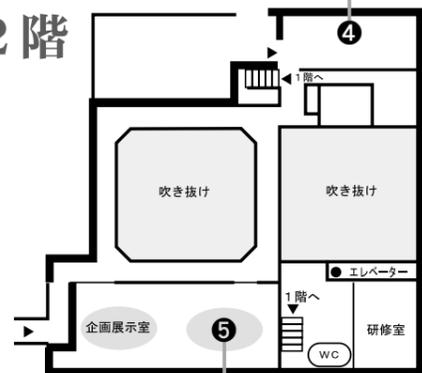
実験が面白かった。科学展示室でもっと遊びたかったな。まだまだ見てないところもあるから、また来たい！



④実験室

(深)ここでは、いろんな実験をやってみせてくれるよ。今回は静電気の実験。パチパチいってる…ちょっと怖いな。  
(圭)ビニールテープが広がったよ、面白い！

2階



⑤科学展示室  
(深)科学館にあった展示は、ここに置かれていたんだね。  
(圭)これは新しい展示の「鉄道の科学」だ。ハンドルを回すと電車が動くよ。

# 遊んで学ぼう！ 総合博物館

体験リポーターの  
深冬です

圭愨です



平成18年3月に閉館した交通記念館が、7月14日(土)から総合博物館として新たにオープンします。今回は、この施設の見どころを小学生代表の深冬ちゃんと圭愨くんを紹介してもらいます。

※文中の(深)は深冬ちゃん、(圭)は圭愨くんです。



③ドームシアター

(深)デジタルプラネタリウムなんだって。星が降ってくるみたい！  
(圭)口を開けてたら入ってきそう…。



1階



①しづか号

(深)博物館のメイン展示、しづか号だよ。大きくてカッコいいね。  
(圭)運転席に乗れたのがうれしかった！



②レファレンスルーム

(深)わあ、がい骨に触っちゃった。  
(圭)学芸員さんにいろいろ教えてもらったよ。パソコンも使っていたんだって。

## 誰もが楽しめる施設へ

総合博物館は、交通記念館の鉄道資料に、小樽の自然や歴史の資料、実験やプラネタリウムなど科学の要素を加えた新しい施設です。鉄道に関心の深い方や科学の実験・工作をしたいお子さんなど、多くの皆さんが楽しめます。

また、館内には科学・歴史・鉄道の各分野に詳しい学芸員がいますので、さまざまな相談に応じることが出来ます。特に、レファレンスルーム(上の図②)は誰でも無料で利用でき、学芸員への相談コーナーや小樽に関する資料が検索できるパソコン5台を設けています。お気軽にご利用ください。

## 展示内容も充実

1階の展示室と屋外は、交通記念館の鉄道資料がそのまま残されています。ドームシアター(上の図③)では、プラネタリウム(無料)と特別番組「銀河鉄道の夜」(20年3月まで。高校生以上200円、小・中学生100円)を上映します。

2階には、新設した実験室(左上の図④)、科学展示室(左上の図⑤)、企画展示室があります。企画展示室では、小樽の歴史や自然に関する企画展などを随時開催します。

## 今後の予定

企画展や催しなどは、ホームページ(アドレスは左下の枠を参照)や本誌などでお知らせします。直近の予定は、左上の枠をご覧ください。市民の皆さんに愛され、親しまれる施設となるよう、今後もさまざまな催しを企画していきます。皆さんのご来館をお待ちしています。



小樽市総合博物館

住所：手宮1丁目3番6号 (☎0134-2523、☎0134-2678)  
開館時間：午前9時半～午後5時  
定休日：火曜日(祝日と年末年始を除く)  
駐車場：150台(無料)  
ホームページ：http://www.city.otaruhokkaido.jp/kyouiku/museum/museum.htm

差出有効期間は平成20年6月30日までです。

はさみ線に沿って切り、セロハンテープなどでしっかりと張り付けてください。

## 市政に対するご意見をお待ちしています

～皆さんと一緒に進めるまちづくり～

市民の皆さんには、日ごろから市政の運営に当たりご協力をいただき、誠にありがとうございます。

「まちづくり」には、市民の皆さんとのパートナーシップが重要であると、日ごろから強く感じています。本市を取り巻く経済・社会情勢は厳しい状況にありますが、皆さんとともに知恵を出し合いながら、「愛着の持てる住みよいまち“はつらつ小樽”」を目指して前進してまいります。

どうぞ、率直なご意見やご要望をお寄せください。お手紙をお待ちしています。

平成19年7月1日

小樽市長 山田勝磨

小樽市 花園2丁目12番1号

小樽市長 山田勝磨 行き



市長への手紙

料金受取人払郵便  
小樽郵便局 承認  
54

差出有効期間  
平成20年6月  
30日まで  
(切手不要)

0478790

# 市長への手紙

### 皆さんの声をお聴かせください

市民の皆さんの声を広くお聴きするため、11年度から毎年「市長への手紙」を実施しています。この18年度の結果と、手紙の送付方法を「案内します」。



## 18年度の「市長への手紙」

18年度に皆さんから寄せられた「市長への手紙」は、185通です。手紙に書かれていたご意見を内容で分けると、245件になりました。いただいたご意見の主なものは、次のとおりです。

- 市立病院の建設について
- 室内水泳プールを廃止しないで
- 包装紙などの過剰包装抑制運動の実施について
- 市職員は市内に居住すべきでは
- 市内での買物・飲食を推進して
- 保健所のトイレに子ども用の便座を取り付けて

ご意見のほとんどは皆さんの生活に密着したものが多く、市では貴重な声として厳粛に受け止めています。

財政的な厳しさもあり、すべてを実施することは難しいですが、できることから一つずつ行っていく予定です。

また、いただいた手紙の内容は、市ホームページ（アドレスは裏表紙に記載）で紹介するほか、本誌「おしゃべり広場」でも一部を掲載しています。紹介している手紙は「掲載可」と記されているものから、匿名で掲載しています。

## 「市長への手紙」の出し方

次ページの専用紙を切り取り、内容を記入して封をし、そのままポストに入れてください。切手は必要ありません。ファクスを利用する際は、専用紙の内容を記入した面を広報広聴課（☎4331）へ送信してください。

## 19年度の実施に向けて

「市長への手紙」は、平成11年度に始めてから9年目を迎えます。

これまでいただいた手紙の内容は、いろいろな分野にわたっていますが、まちづくり・地域づくりへの思いが伝わってくるものばかりです。

昨年度は、市立病院の統合・新設についてのご意見が多く寄せられました。いただいたご意見は厳粛に受け止め、市立病院の建設に取り組んでまいります。

今後も、市民の皆さんとの連携を大切にしながらまちづくりを進めていきますので、一人でも多くの皆さんの声をお聴かせください。

小樽市長 山田勝磨



なお、手紙は匿名でも構いませんが、その場合は回答ができなかったり、事実や場所の確認が必要なときに対応できなかつたりします。皆さんからのご意見に誠実に対応させていただきます。また、お名前と連絡先の記入をお願いいたします。（秘密は厳守します。また、記入いただいた個人情報については手紙の回答や内容確認以外に使用しません）

専用紙は、市役所別館市民ホールや、総合・塩谷・銭函の各サービスセンターにも置いてあります。記載欄が足りないときは別紙を用意いただき、封をする際に同封してください。



このほか、市役所渡り廊下、総合・塩谷・銭函の各サービスセンターに設置している「市民の声」投書箱や、市ホームページ内から送信できる「ご意見お問い合わせメール」でも、皆さんのご意見を受け付けています。どうぞご利用ください。

◆お問い合わせは、広報広聴課 ☎4111 内線394、☎4331 へどうぞ。

問い合わせ先：小樽市総務部広報広聴課

電話 32 - 4111 内線394





よこやまふみよ  
**横山文代さん**

入船で生まれ、現在も入船に住む。高校2年生のときに投稿した漫画で才能を認められ、翌年デビュー。少女漫画誌マーガレットの専属漫画家として約10年間活躍した。現在は、イラストデザインのほか、新聞の挿し絵やかまぼこを紹介する子供向け漫画を描くなど、幅広い仕事を手掛ける。

# 人のぬくもりを表現したい

## 漫画家で、南樽市場のキャラクターをデザイン

「市場で買い物をしていたとき、ふと『赤いずきんをかぶって緑の長靴を履いた女の子がここにいたらかわいいな』と思っただけです」と、横山文代さん。もともと市場が好きで横山さん。偶然、隣が『南樽市場協同組合』の理事の方の家だったため、以前よりキャラクターについて相談を受けていました。「思いついたイメージのまま描いたのが『みなみちゃん』です。それから約7年たちますが、今も看板娘としてお店やお客さんに愛されているのがうれしいですね」横山さんが漫画家になったのは、当時の漫画ブームに乗って友人と漫画を投稿したことがきっかけでした。「プロにならないかと言われたときは、ずいぶん悩みました。本当は画家になりたくて、美術大学を目指していたんです。でも、母に『大学はいつでも行けるけど、チャンスは一度しかないよ』と言われ、やってみようと思いました」母親の体が弱かったため東京へは行か



中央の少女が南樽市場の看板娘「みなみちゃん」。店内のあちこちで笑顔と愛きょうを振りまき、心を和ませます。

ず、小樽、札幌、東京を往復しながら漫画を描きました。「読者の期待を裏切らないような良い作品を」と言われ続けたので、プレッシャーが大きく大変でした。でも、やりがいもありましたね。良い漫画を描くことに夢中になっていたら、あっという間に10年が過ぎました」34歳になったころ、母親が病に倒れました。横山さんは、介護に専念するため活動を休止しました。「母はこのことを気にしていましたが、わたしは感謝しています。介護を通して、医師や市場の皆さん、そのほかたくさんの方の温かさに触れたんです。とても勉強になりました」小樽がますます好きになりました」今は母親の病状も落ち着き、本格的に活動再開の準備を進める横山さん。「今までの経験を生かして、長く愛される作品を描きたいです。読んだら心がほっとして、人のぬくもりが感じられるものを…」



# おたる文学散歩

## 第十三話 岡田三郎 小説家の運命

「ああ潮陵に暁鐘は鳴る」と歌い出される小樽潮陵高校の校歌。歌詞のスケールの大きさと端正な曲が合致し、同校関係者だけでなく多くの市民に親しまれています。大正八年三月、同校前身の庁立小樽中学校の卒業式で初めて歌われました。この歌を作詞したのが、第四期生の岡田三郎でした。岡田三郎は、明治二十三年二月、松前町で誕生。生家の没落などで親戚を頼り来樽し、その後、小樽中学校に入学。優秀な成績で卒業しました。税務署勤務や軍隊生活を経験した後、上京し早稲田大学に入学。大正六年に新聞懸賞小説に応募した『涯なき路』が一等当選し、文壇にデビューしました。そしてフランスへ渡り、帰国後、『コント』（掌編小説）を日本で紹介するなど、モダンなスタイルの小説を試みます。

しかし、そうしたスタイルは三郎の資質にそぐわず、自然主義の作家として知られる徳田秋声に感化され、自らの生活に密着した私小説的作品を書き始めます。小説の中で大きな比重を占めていくのは、三郎が交際した女性たちでした。最初の結婚から三年も経たないときに旧知の女性と失踪し、ようやく落ちついたかに見えた三度目の結婚後も、突然、銀座で働く少女と逃避行。このように、波乱に満ちた生活のすべてが小説の素材に



潮陵高校敷地内にある校歌歌碑



岡田三郎

なりました。それは、作品を書く以前に、自分の生活環境を自己流に作らないうらなれないという、いわゆる「破壊型作家」の道でもありました。こうした事件は、時局をわきまえぬ軽薄な行爲と新聞で批判されました。しかし、そうしたやむにやまれぬ行為から招いたことすべてを自分の運命と受け入れた作品『秋・冬』などが、伊藤整らに深い感銘を与えました。最後の妻に先立たれ、幼い遺児を抱えて終戦前後の苦しい日々を送った三郎は、昭和二十九年、六十四歳でこの世を去りました。私小説の数々の名作を残しながら「忘れられた作家」となった岡田三郎。しかし、その若い日はつらつとした感性は、今も潮陵高校の校歌として小樽の人々に愛され続けているのです。

※6月号で佐川ちかが大野百合子の一歳年下としましたが大野が明治四十一年、佐川が四十四年生まれて、正しくは三歳年下の誤りでした。謹んでお詫びいたします。

# 元気のもと！なかま

## 情熱のダンスが魅力

### アルゼンチン タンゴ ミロンギータ

「男女ペアで踊るアルゼンチンタンゴは抱擁のダンス。とても情熱的なんです。感情込めて踊る姿には、つい目を奪われますよ」と語るのは、会を立ち上げた1人である中村ひとみさん。

昨年7月に行われたダンスパーティーに参加した中村さんは、一目見てその魅力に引かれ、翌月、友人2人と会を立ち上げました。現在会員は10人。月3回の練習のうち2回はアルゼンチン人の先生を招いています。

「会員にはアメリカ人もいますので、英語、スペイン語、日本語が飛び交い国際的な雰囲気ですよ。そんなレッスンは、また楽しくて。でも、始めたばかりなので踊りはまだまだ。ステップを覚えるのに必死です」

下は中学生、上は50歳代と年齢も幅広い会ですが、お互い冗談が言い合えるほど仲良し。

「アルゼンチンタンゴを始めると、男性も女性もより魅力的になれると思います。現在、会員募集中。まずは見学を」  
▽連絡先／中村 ひとみ 090(3778)3488

市内で活躍するサークル・団体の情報を、広報広聴課へお寄せください(あて先は裏表紙に記載)



# ぼくのわたしの 大好きなひと 20

桜小学校6年 たかはし みほ 高橋 美帆さん

志保ちゃんのご事は幼稚園から知っていたのですが、仲良くなったのは小学校4年生のとき。同じクラスになってからです。それまでは、家も近所だったのであまり話をすることがありませんでした。でも、今ではいつも一緒です。学校の行き帰りや帰ってから。家から学校まではすぐなのに、どちらかが遅くなったら、ずっと待っているんです。

いつも一緒になると、たまにけんかになることがあります。だけど、次の日にはお互い「ごめんね」と言って仲直りできます。志保ちゃんにはなぜか素直に謝れるんです。わたしが悪いことをしてママにしかられたときも、初めは謝れないのに、志保ちゃんに話した後は、素直に謝れるようになるんです。

2人の将来の夢は、志保ちゃんが漫画家で、わたしが女優になること。そして2人一緒にテレビに出ることです。

志保ちゃん、夢が実現するように頑張ろうね。これからも仲良くしてね！



美帆さん(左)と金沢志保さん(右)



## 必ず帰ってきてね

5月28日、鯉御殿の前浜で、祝津小学校の児童によるニシンの幼魚放流が行われました。放流されたニシンは、順調に育つと、3～4年後にまた祝津の浜に帰ってきます。小樽にとってニシンは特別な魚。子どもたちは、ニシンが帰ってくることを願いながら、幼魚をそつと海に放しました。



## 決定！小樽のクイズ王

5月18日～20日、サンモール一番街商店街などを会場に「第3回小樽さくら祭り」が開催されました。初日のメインイベントは、3万円の賞金をかけたクイズ大会。約40人が参加し、最後は勝ち残った5人で決勝戦が行われました。最初は気楽に参加した皆さんも、いざ賞金が目の前に近付いてくると真剣そのもの。白熱したクイズ戦が展開されました。

## もうすぐみんなお母さん

6月5日、保健所では妊娠中の方を対象に新しい講座「こたまクラブ」を実施。15人の皆さんが参加しました。グループ討議では、「立ち会い出産ってどうなの？」「出産後に体重は元に戻るの？」など、話題が尽きない様子。最後はお互いの連絡先を交換し、交流の輪を広げていました。



「広報おたる」に掲載したあなたの写真を差し上げます。ご希望の方はお申し出ください。



## 没後20年 森本三郎展

5月26日～7月1日、美術館では森本三郎の没後20年を節目とした回顧展を開催。代表作『雪の小樽』の連作など、油絵70点素描50点を展示しました。7月5日～22日には、昨年8月に逝去した三郎の夫人、森本光子の作品展を開催します。



## ごみの分別は大切ね

5月22日、「動く市政教室」を実施。37人の皆さんが、桃内の北しりべし広域クリーンセンターを見学しました。環境に配慮した最新設備でゴミを処理する一方、誤って分別された資源物を手作業で除いていることを知り、家庭での分別の大切さを実感していました。

## 今月の表紙「チームワーク」



力強くボートを漕ぐのは、桜陽高校ボート部の皆さん。勝納艇庫そばの運河を中心に、春から秋まではほぼ毎日練習を行っています。



オール動き一が乱れても結果に影響するボート競技は、チームワークが命。お互いに息を合わせながら、全身で漕ぎ進めます。仲間たちは、強いきずなで結ばれています。